**2023年度**

**ライフサイエンスデータベース統合推進事業**

**統合化推進プログラム**

**研究開発提案書　記入要領 ［区分B（本格型）］**

**～国際的なデータ基盤となりうる本格的な統合データベースの研究開発～**

（※本ページは提出不要です。PDF化前に削除してください。）

# 研究開発提案書 様式 ［区分B（本格型）］の記入要領

（※本ページは提出不要です。PDF化前に削除してください。）

本ファイルの一覧は以下の通りです。記入要領に従って研究開発提案書を作成し、表紙ならびに様式1～様式7を提出してください。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 内容 |
| 記入要領 | * 統合化推進プログラム研究開発提案書　記入要領（提出不要）
* 提出前チェックシート（提出不要）
 |
| 表紙 | 統合化推進プログラム研究開発提案書　表紙 |
| 様式1 | I. 研究開発提案の要旨 |
| 様式2 | II. 構想 |
| 様式3 | III.研究体制 |
| 様式4 | IV. 予算計画 |
| 様式5 | V. 業績リスト・過去の実績 |
| 様式6 | VI. 他制度での助成等の有無 |
| 様式7 | VII. 特記事項 |

※ 研究開発提案書作成前に必ず公募要領「2.6.1　応募者の要件」の項目e（本プログラムの研究総括との利害関係に関する項目）をご確認ください。明確に判断し難い項目が1つでもある場合には、応募前に下記までお問い合わせください。

　・ 利害関係問い合わせE-mail：nbdc-funding@jst.go.jp

※ e-Radへアップロードできるのは、PDF形式のみです。

研究開発提案書のPDF変換は、e-Rad内でも可能です（グローバルメニューの「その他 ＞ PDF 変換」）。使用方法は、e-Radの研究者向けマニュアルを参照してください。

※ PDFファイルのファイルサイズ上限は10MBです。

上限を超える場合は、画像やPDFファイルの解像度等で調整してください。

※ 可能であれば、ブックマーク（しおり）を作成してください。

Windows 版 Word の PDF 作成機能を用いる場合、保存時のオプションから「次を使用してブックマークを作成」にチェックすると作成することができます。

※ 変換後のPDFにつき、次の点を確認してください。

・Wordの「変更履歴」が残っていないか？

・ファイルにパスワードが残っていないか？

・各ページの下部にページ数が振られているか？

・テキストが文字化けしていないか？

・コピーしたテキストが文字化けしないか？

※ 研究開発提案の応募方法については、公募要領「2.7応募方法」をご参照ください。応募はe-Radを通じて行っていただきます（同「別紙1」もご参照ください）。

※ その他、公募要領の内容をご理解の上、ご応募ください。

# 提出前チェックシート

（※本ページは提出不要です。PDF化前に削除してください。）

## ○ 締切（2023年1月23日（月）15:00）に十分余裕を持ってご確認ください

|  |  |
| --- | --- |
| **主な確認ポイント** | **チェック欄** |
| e-Radへの研究者登録が済んでいるか「別紙1　e-Radでの応募について」参照。 | **□** |
| 研究倫理に関する教育プログラムを修了したか公募要領「4.1研究倫理教育に関するプログラムの受講・修了について」参照。 | **□** |
| 研究総括と利害関係がないか※公募要領「2.6.1応募者の要件」の項目e（本プログラムの研究総括との利害関係に関する項目）参照。 |  |
| A | 研究総括と親族関係にある。 | 該当なし**□** |
| B | 研究総括と大学、国立研究開発法人等の研究機関において同一の研究室等の最小単位組織に所属している。あるいは、同一の企業に所属している。 | 該当なし**□** |
| C | 現在、研究総括と緊密な共同研究を行っている。又は過去3年以内に緊密な共同研究を行ったことがある（緊密な共同研究の有無は、例えば、共同プロジェクトの遂行、研究課題の中での研究分担者あるいは共著研究論文の執筆等、それぞれの内容から判断します）。 | 該当なし**□** |

※ 明確に判断し難い項目が1つでもある場合、事前にE-mail: nbdc-funding@jst.go.jpまでお問い合わせください。

## ○ 提出期限について

締切当日はe-Radのシステム負荷が高く、応募に時間がかかる、完了できない等のトラブルが発生しています。時間的余裕を十分に取って、出来るだけ締切前日までに応募を完了するようお願いいたします。

## ○ 各様式について

研究開発提案書に漏れがないかチェックの上、提出してください。なお、不備がある場合には不受理となる可能性がありますので、ご注意ください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **様式** | **項目** | **主な確認ポイント** |  |
| 全体 |  | PDF変換後のファイルに文字化け、図表の抜け、見切れ等がないか。 | **□** |
| 表紙 |  | 記載漏れがないか。 | **□** |
| 様式3 | 研究体制 | 記載漏れがないか（特に研究分担者の「所属研究機関コード」、「研究者番号」）。 | **□** |
| 様式4 | 予算計画 | 各表合計値と表紙の総額とが一致しているか。 | **□** |
| 様式6 | 他制度助成 | 記載漏れがないか。 | **□** |
| 様式7 | 特記事項 | 評価者との利害関係の有無に記載漏れがないか。 | **□** |
| 研究代表者の利益相反マネジメントに関する申告に記載漏れがないか。 | **□** |
| JSTの利益相反マネジメントに関する申告に記載漏れがないか。 | **□** |
| 人権の保護および法令等の遵守への対応にチェック漏れがないか。 | **□** |
| 若手研究者の多様なキャリアパスの支援について記載漏れがないか。 | **□** |

# 2023年度統合化推進プログラム研究開発提案書 ［区分B（本格型）］　表紙

*【註記】 提案書中の註記部分（青字斜体の部分）は記載上の注意です。提出時は削除してください。*

* *様式の記入に当たっては、**公募要領を必ずご確認ください。*

|  |  |
| --- | --- |
| **研究開発課題名** | （和文）（英文） |
| **開発対象データベースの名称（URL）** | (https://)* *開発前の場合は、「開発対象データベースの名称」には仮称を記載してください。*
 |
| **研究代表者氏名****（研究者番号）** | *（e-Radに研究者情報を登録する際に付与される8桁の番号）* |
| **所属機関・部署・役職** | * *「大学院○〇研究科○〇専攻」「特任准教授」等、略さず正しくご記入ください。大学院の表記漏れにご注意ください。*
 |
| **学歴****(大学卒業以降)** |  |
| **研究歴****(主な職歴と研究内容)** |  |
| **研究代表者の情報** | https:// |
| **希望する研究開発期間** | ○○○○年○月～○○○○年○月(○年○ヶ月)* *2023年4月から2028年3月までの5年以内。実際の研究開発期間は、研究開発計画の精査・承認により決定します。*
 |
| **希望する研究開発費** | 全研究開発期間での研究開発費希望総額 (〇〇,〇〇〇万円)（直接経費のみ）* *実際の研究開発費は、研究開発計画の精査・承認により決定します。*
 |
| **バイアウトの適用** | 直接経費から研究以外の業務の代行経費（バイアウト）を支出する／支出しない。* *「支出する／支出しない」は該当する方を残してください。*
* *バイアウト制については公募要領「3.3.1 研究費（直接経費）」 を参照してください。*
 |
| **PI人件費の支出** | 直接経費からのPI人件費を支出する／支出しない。* *「支出する／支出しない」は該当する方を残してください。*
* *PIの人件費の支出については公募要領「3.3.1 研究費（直接経費）」 を参照してください。*
 |

# 研究開発提案の要旨

## 1. 要旨

* *400字程度で研究開発の目的と計画を記載。*
* *本項目をe-Rad入力項目の「研究目的」、「研究内容」に転記頂いてもかまいません。*

## 2. 対象とするデータベースの要件

* *公募要領「2.2.2 区分B（本格型）：国際的なデータ基盤となりうる本格的な統合データベースの研究開発」について、満たしている項目をチェック（☑もしくは■）してください。*

|  |  |
| --- | --- |
| **チェック** | **対象とするデータベース条件** |
| **□** | a. 次のいずれかに該当するデータベースを開発・運用・発展させる研究開発であること。（応募時点で必ず満たしているべき要件）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **□** | (1) | 国際基準のデータ基盤構築に向けて国際連携による統合を行うデータベース。 |
| **□** | (2) | 利用者による知識発見・課題解決を支援する機能に特徴のあるデータベース。 |
| **□** | (3) | 研究ニーズや実験技術の新しい動向に対応するためのデータベース。 |
| **□** | (4) | 国際的プレゼンスを有し更なる高度化や機能拡張を目指すデータベース。 |

 |
| **□** | b. 搭載・公開する研究データは、原則として網羅性がある。搭載する範囲を限定する場合、限定する範囲が想定される利用者の目的に照らして適切であること。 |
| **□** | c. 搭載・公開する研究データは、品質が明確な基準に基づいて検証される、必要に応じて標準化、改訂、増補等が行われること。 |
| **□** | d. 搭載・公開するデータの形式や構造、オントロジー、ID、メタデータ等は、ライフサイエンス分野や隣接分野のデータと連結されて統合的に利用されることを前提として開発され、整備されていること。 |
| **□** | e. 利用者が了解を得ることなしに、営利目的も含め、データを改変した上での再配布等を可能とすること。ただし、ヒト試料を用いた研究等の成果として産生され、かつ倫理的な配慮を要するデータを取り扱う場合、前文の条件に関わらず、適切なアクセス制限のレベルを設定し、データの利用に先だってその可否を研究機関の責任において審査すること。 |
| **□** | f. 研究開発対象のデータベースの利用状況を測るための指標が、データベースを構築する目的に応じて適切に設定されており、今後更なる利用の拡がりが期待できること。 |
| **□** | g. 関連する国内外の研究コミュニティ（研究機関、学会、学術論文出版社等）と密に連携して開発・運用がなさること。 |
| **□** | h. データベース統合の観点から、開発対象となる主なデータベース以外のデータベースも開発対象に含める必要がある場合は、ファイル形式、オントロジー、ID、インターフェース等について主なデータベースと相互に有機的な連携がなされること。

|  |  |
| --- | --- |
| **□** | 主なデータベースとは別のデータベースを研究開発対象としない。 |
| **□** | 相互に有機的に連携している。 |

 |

# 構想

## 1．研究開発対象とするデータベース

### 1-1．主なデータベース

【基礎情報】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **1** | **名称** | ※ *開発前の場合は、「名称」には仮称を記載してください。* |
| **2** | **別称** |  |
| **3** | **URL** | https:// |
| **4** | **概要** | （和文）※ *250文字程度で記載してください。*（英文） |
| **5** | **公開開始日** |  |
| **6** | **主な論文の書誌情報** | ※ *著者名（全員分）、発表論文名、掲載誌、巻号・ページ・発表年、URL、2報以内。* |
| **7** | **ソースコードや関連ドキュメントの掲載場所** | https:// |
| **8** | **データセットの一括ダウンロード機能** | https:// |

### 1-2．その他の研究開発対象

* *研究開発課題が研究開発を行うデータベース（「主なデータベース」）は基本的に1つとします。*
* *互いに独立して運用される2つ以上のデータベースを研究開発対象とすることはできませんが、主なデータベースに有機的に連携するデータベースやツール等（ビューア、解析ソフトウェア、プラグイン等）は、主なデータベースの価値を直接的に高めるための最低限な維持・更新や研究開発のみ可能です。*
* *必要に応じて行を追加してください。*

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **No.** | **名称** | **URL** | **管理者** | **概要（主なデータベースとの連携内容）** |
| 1 |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |
| 3 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

## 2. 主なデータベースの利用状況（既に構築・運用されている場合）

* *本提案に関連するデータベースを既に構築・運用している場合のみ記載してください。*

### (1) アクセス数実績（年度別月間平均）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **2018年度** | **2019年度** | **2020年度** | **2021年度** | **2022年度** |
| **訪問者数** |  |  |  |  |  |
| **訪問数** |  |  |  |  |  |
| **ページ数** |  |  |  |  |  |

各項目の定義は以下の通り。

* 訪問者数： ユニークIP数等、訪問した個々のユーザー数。
* 訪 問 数： セッション数等、ユーザーがサイトを訪問した回数。
* ページ数： ユーザーが訪問した際に読み込んだページ数。

### (2) データベースを利活用して得られた第三者による成果論文

* *書誌情報（著者名、発表論文名、掲載誌、巻号・ページ・発表年、URL）、成果の概要、データベースがどのような観点で用いられたか（仮説導出、実験結果の検証、研究データの登録、結果考察、データベースの構築、総説における参照 等）を記載し、主な論文5報以内を記載してください。*

### (3) その他、利活用状況を表す指標

* *上記以外で、データベースの利用状況を表す指標（ftpサイトからのダウンロード数、利用者の研究分野等の多様性、知的財産権の出願数、共同研究の実施数、問い合わせ件数等）があれば、簡潔に記載してください。*

## 3．研究開発内容

* *図表も含めて10ページ以内で記載してください。*
* *必要に応じて適宜、適切な見出しを立てる、図表等（カラー可）を用いるなどして、評価者が理解しやすいように記載してください。*
* *新規にデータベースを開発する場合、予備的な研究結果がある場合はその結果を示した上で、想定される課題と構想を実現するための具体的な手段等について記載してください。*
* *e-Radのアップロード上限は10MBですのでご留意ください。*
* *「V. 業績リスト・過去の実績」の記載内容を適切に引用し、提案者自身の業績と研究提案との関係が明確となるように記載してください。*

### 3-1. 背景と目的

* *対象研究分野や利活用が想定される分野の状況、研究開発の目的等について記載してください。*

### 3-2. 研究開発とデータベースの概要

* *以下の内容についてわかりやすく記載してください。*
	+ - *搭載データの種類と量、品質管理方法、収録データ範囲が限定される場合はその選択基準とデータベースの目的に照らしてその限定が適切だとする理由等*
		- *収載するメタデータの構成、オントロジー（使用するオントロジーの区分、名称、URL）等*
		- *データおよびデータベースの接続性（他のデータベースとの連携、RDF化への対応、RDF化しない場合はどのような方法でデータやデータベースの接続性を実現するか）等*
		- *データベースの機能とその新規性・進歩性・優位性（データベースによって提供される知識や情報、既存の類似データベースとの比較および提案の独創性・新規性、前研究開発課題や関連研究開発課題がある場合はそれらとの相違点）等。*
		- *研究開発の進め方（年次ごとのマイルストーン、研究開発終了時の達成目標）等*
		- *データベースの利用許諾条件等*
		- *システム構成（サーバーの物理的所在、管理者・機関、その他サーバースペック、期間中の変更予定の有無等）*

### 3-3. 利用者像、期待される効果やインパクトなど

* *以下の内容についてわかりやすく記載してください。*
	+ - *想定される利用者の研究分野や研究スタイル（Wet/Dry）、利用目的（仮説導出、実験結果の検証、結果の考察等）等*
		- *期待される効果やインパクト（科学技術への効果、産業への寄与、社会課題や解決策の提示）等*

### 3-4. 将来展望

* *以下の内容についてわかりやすく記載して下さい。*
	+ - *さらなる発展性や期待される効果等*
		- *研究開発期間終了後の維持・運用計画等*

## 4．研究開発のスケジュール

* *研究開発期間内に実施する研究開発内容のおおまかなロードマップ（線表）を記載してください。*
* *大項目－中項目－小項目に分けて階層的に記載して下さい。*
* *公募要領「2.2.2 区分B（本格型）：国際的なデータ基盤となりうる本格的な統合データベースの研究開発」のb.～h.の要件のうち、応募時点で満たされていないものがある場合、中間評価時（第3年次に実施予定）までに要件を満たすことが必要ですので、ご留意ください。*
* *（例）の行は削除し，必要に応じて行を追加してください。*

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **実施する研究開発項目** | **2023****年度** | **2024****年度** | **2025****年度** | **2026****年度** | **2027****年度** |
| *○○データベースシステムの開発（大項目）* | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| *データ公開システムの開発（中項目）* | ● | ● | ● | ● |  |  |  |  |  |  |
| *○○機能の実装（小項目）* |  |  | ● | ● | ● | ● |  |  |  |  |
| *〇〇データの更新（中項目）* |  |  |  |  | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

## 5. 中間評価時までの達成目標

* *中間評価時（第3年次に実施予定）までに達成を目指す目標を可能な限り具体的な指標を用いて簡潔に記載してください。採択後、各年度の進捗把握の指標の一つとして用います。*

*例：*

* *公共データベースの全データを精査し、2025年9月までに最低でも〇〇つの生物種の〇〇データを〇〇データベースから公開する。*
* *〇〇分野、〇〇分野の専門家と協議し、接続性の高いオントロジーを2025年9月までに開発する。*
* *データ整理に係る時間を2025年9月までに〇〇％低減する。*
* *2025年9月までにユーザーインターフェースを刷新し、目的とする情報へ辿り着くまでの平均時間を〇〇％低減する。*
* *2025年9月までに再訪問率（訪問数/訪問者数）を応募時点比で〇〇％以上増加させる。*

## 6. 研究開発期間延長により得られる効果と成果（期間延長を希望する場合）

* *公募要領「3.4.1 中間評価・事後評価」に記載の5年間を上限とする研究開発期間の延長希望について記載してください。*
* *「希望する／希望しない」は該当する方を残してください。*
* *希望する場合は、期間延長により得られる効果と成果の見通しを記載してください。*

5年間を上限とする研究開発期間の延長を　希望する／希望しない。

### ○開発期間延長により得られる効果と成果の見通し（希望する場合）

# 研究体制

* *研究代表者が所属する研究機関の研究参加者（研究代表者、研究に従事する研究員、技術員、研究補助員、学生等）からなる研究代表者グループの研究体制を記載してください。*
* *研究分担者が所属する研究機関の研究参加者（研究分担者、研究に従事する研究員、技術員、研究補助員、学生等）からなる研究分担者グループ**を編成する場合はその研究体制を記載してください。*
* *研究代表者や研究分担者、研究体制にかかる要件は、公募要領「2.6.1 応募者の要件」、「2.6.2 研究体制の要件」、「2.6.3 研究機関の要件」を参照してください。*
* *研究機関・部署：現在の所属機関と採択後研究を実施する機関が異なる場合には、研究を実施する機関を記載し、「特記事項」に事情を記載してください。*
* *研究参加者氏名：研究代表者、研究分担者以外の研究参加者（研究に従事する研究員、技術員、研究補助員、学生等）を記載してください。提案時に氏名が確定していない場合、「研究員**○名」等と記載してください。*
* *本提案での役割：「○○サーバーの管理」「○○データセットの整理」等を、箇条書きで記載してください。*
* *研究参加者の行は、必要に応じて追加してください。*

## 1．研究代表者グループの研究体制

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **研究代表者氏名** | **研究機関・部署・役職** | **本提案での役割** |
|  |  |  |
| **研究参加者氏名** | **所属機関・部署**(上記と同じ場合には省略)・**役職** | **本提案での役割** |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

### ○ 特記事項

* *研究機関・部署：現在の所属機関と採択後研究を実施する機関が異なる場合、その事情を記載してください。*
* *特別の任務等（研究科長等の管理職、学会長等）に仕事時間を要する場合、その事情・理由を記載してください。*

### ○ 研究開発実施項目および概要

#### ・研究題目

* *（例）「○○○○データベースの開発と運用」等。*

#### ・研究開発概要

* *研究代表者グループが担当する研究の概要を簡潔に記載してください。*

#### ・構想における位置づけ

* *構想を実現するために研究代表者グループが果たす役割等を簡潔に記載してください。*

## 2．研究分担者グループの研究体制

* *研究分担者グループを設置する場合、研究機関ごとに記載してください。*
* *研究分担者グループの数に上限はありません。また、産学官いずれの研究機関も研究分担者グループとすることが可能です。*

### 2-1.研究分担者グループ（1）（○○グループ）

* *研究分担者グループが複数ある場合は、「2-2.研究分担者グループ（2）（○○グループ）」、「2-3.研究分担者グループ（3）（○○グループ）」・・・というように、項目を増やして記載してください。*
* *研究機関・部署： 現在の所属機関と採択後研究を実施する機関が異なる場合には、研究を実施する機関を記載し、「特記事項」に事情を記載。*
* *研究者番号： e-Radに研究者情報を登録する際に付与される8桁の番号。*
* *研究機関コード： e-Radに研究機関情報を登録する際に付与される10桁の番号。*
* *研究参加者氏名： 研究分担者以外の研究参加者（研究に従事する研究員、技術員、研究補助員、学生等）を記載。提案時に氏名が確定していない場合、「研究員○名」等と記載。*
* *本提案での役割： 「○○サーバーの管理」「○○データセットの整理」等。箇条書きで記載。*
* *研究参加者の行は、必要に応じて追加してください。*
* *研究分担者グループがない場合は「2-1.研究分担者グループ(1)」の項目ごと削除してください。*

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **研究分担者氏名** | **研究機関・部署** | **役職** |
|  |  |  |
| **研究者番号** | **研究機関コード** |
|  |  |
| **研究参加者氏名** | **所属機関・部署**(上記と同じ場合には省略)・**役職** | **本提案での役割** |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

#### ○ 特記事項

* *研究機関・部署：現在の所属機関と採択後研究を実施する機関が異なる場合には、その事情を記載してください。*
* *特別の任務等（研究科長等の管理職、学会長等）に仕事時間を要する場合、その事情・理由を記載してください。*

#### ○ 研究開発の担当項目および概要

##### ・研究題目

* *（例）「○○○○機能の開発」等*

##### ・研究開発概要

* *研究分担者グループ（1）が担当する研究の概要を簡潔に記載してください。*

##### ・構想における位置づけ

* *構想を実現するために研究分担者グループ（1）が果たす役割等を簡潔に記載してください。*

# 予算計画

## 1．費目別の予算計画

* *研究開発内容を遂行するために必要な経費を記載してください。*
* *その他のデータベース（主なデータベース以外のデータベース）については、主なデータベースの価値を直接的に高めるための最低限な維持・更新や研究開発のみが可能であることにご留意ください。*

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **第１年次**(2023.4～2024.3) | **第2年次**(2024.4～2025.3) | **第3年次**(2025.4～2026.3) | **第4年次**(2026.4～2027.3) | **第5年次**(2027.4～2028.3) | **合計**(百万円) |
| **物品費** |  |  |  |  |  |  |
| **旅費** |  |  |  |  |  |  |
| **人件費・謝金****(被用者の数)** | (○人) | (○人) | (○人) | (○人) | (○人) |  |
| **その他** |  |  |  |  |  |  |
| **合計**(百万円) |  |  |  |  |  |  |

*※ 直接経費のみ記載（間接経費の記載は不要）。*

*＜費目ごとの主な使途等＞*

*a. 物品費： 新たに設備（※1）・備品・消耗品等を購入するための経費*

*b. 旅 費： 研究開発計画書記載の研究参加者の旅費*

*c. 人件費・謝金*

* *人件費・謝金： 研究参加者（ただし、研究代表者と研究分担者を除く）の人件費（※2、※3）、講演依頼謝金等の経費*
* *被用者の数： 研究費で人件費を措置する予定の研究員、技術員、研究補助員の人数。*

*d. その他： 研究成果発表費用（論文投稿料等）、機器リース費用、運搬費等（※2）*

*※1 新たな研究設備・機器の購入にあたっては、「研究組織のマネジメントと一体となった新たな研究設備・機器システムの導入について」（平成27年11月科学技術・学術審議会先端研究基盤部会）において運用すべきとされている「研究組織単位の研究設備・機器共用システム（以下、「機器共用システム」といいます）」等の活用を前提としていただきます。*

 *詳しくは、公募要領「4.12 研究設備・機器の共用促進について」を参照してください。*

 *(注) 研究費（直接経費）として支出できない経費の例*

*・ 研究開発目的に合致しないもの*

*・ 間接経費による支出が適当と考えられるもの*

*・ 委託研究費の精算等において使用が適正でないとJSTが判断するもの*

*〇 JSTでは、委託研究契約書や事務処理説明書、府省共通経費取扱区分表等により、一部の項目について、本事業特有のルール・ガイドラインを設けています。また、大学等（大学、公的研究機関、公益法人等でJSTが認めるもの）と企業等（主として民間企業等の大学等以外の研究機関）では、取扱いが異なる場合があります。詳しくは、以下のURLにて最新の事務処理説明書等を参照してください。*

 *https://www.jst.go.jp/contract/index2.html*

*※2 大学等においては、研究代表者となる者を対象として、一定の要件を満たした場合に限り研究代表者の人件費及び研究以外の業務の代行に係る経費（バイアウト経費）を支出することができます。以下に必要な要件を定めていますのでご確認ください。*

*○ 「直接経費から研究以外の業務の代行経費を支出可能とする見直し（バイアウト制の導入）及び、直接経費から研究代表者（PI）の人件費の支出について（連絡）」（令和2年9月17日）*

 *https://www.jst.go.jp/osirase/2020/pdf/20200917.pdf*

*○「直接経費から研究以外の業務の代行経費を支出可能とする見直し（バイアウト制の導入）」に関するライフサイエンスデータベース統合推進事業（統合化推進プログラム）の対応について*

 *https://biosciencedbc.jp/funding/files/dicp\_info01.pdf*

*○「直接経費から研究代表者（PI）の人件費の支出」 に関するライフサイエンスデータベース統合推進事業（統合化推進プログラム）の対応について*

 *https://biosciencedbc.jp/funding/files/dicp\_info02.pdf*

*※3 リサーチアシスタント（RA）については、**公募要領「4.13 博士課程学生の処遇の改善について」を参照してください。*

### ○ 特記事項

* *支出予定額が少ない場合、その理由を記載してください（「他の合算使用可能な費用から支出可能なため不要」等）。*

## 2．研究グループ別の予算計画

* *研究グループの数に応じて行を増減してください。*

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **第１年次**(2023.4～2024.3) | **第2年次**(2024.4～2025.3) | **第3年次**(2025.4～2026.3) | **第4年次**(2026.4～2027.3) | **第5年次**(2027.4～2028.3) | **合計**（百万円） |
| **研究代表者****グループ** |  |  |  |  |  |  |
| **研究分担者****グループ（1）** |  |  |  |  |  |  |
| **研究分担者****グループ（2）** |  |  |  |  |  |  |
| **研究分担者****グループ（3）** |  |  |  |  |  |  |
| **合計（百万円）** |  |  |  |  |  |  |

*※ 直接経費のみ記載（間接経費の記載は不要）。*

### ○ 購入予定の主要設備（1件500万円以上、機器名、概算価格）

*（記入例）*

*○○グループ △△△△△△サーバー 1,500万円　（第1年次）*

*○○グループ △△△△外部記憶装置 1,700万円　（第3年次）*

# 業績リスト・過去の実績

## 1．研究代表者の実績

### 1-1. 本研究開発提案に関連する主要な論文・著書等

* *今回の提案に関連する主要な論文・著書等の業績を、発表年が最新のものから順に、5件以内で、著者（著者名は全員）、発表論文名、掲載誌、巻号・ページ・発表年、URLを記載してください。*

### 1-2．データベース等の開発・運用実績

* *これまで開発・運用に携わってきたデータベース等（データベース、解析手法・ツール）があれば、名称、URL、データベース等の概要、当該データベース等の開発において研究代表者が果たした役割を簡潔に記載してください。*

### 1-3．競争的研究資金制度等において代表を務めた研究開発課題の事後評価

* *2018年度以降に公開されたもののみ、制度名称、研究課題名、事後評価掲載先URLを記載してください。*

## 2. 研究分担者(1)（○○グループ）の実績

* *研究分担者の実績を研究分担者ごとに記載してください。*
* *研究分担者グループが複数ある場合は、「3.研究分担者（2）（○○グループ）」、「4.研究分担者（3）（○○グループ）」・・・というように、項目を増やして記載してください。*
* *研究分担者グループがない場合は「2.研究分担者（１）」の項目ごと削除してください。*

### 2-1．研究分担者(1)（○○グループ）の本研究開発提案に関連する主要な論文・著書等

* *本研究開発提案に関連するこれまでの研究分担者の主要な論文・著書等の業績を、発表年が最新のものから順に、記載してください。*
* *5件以内で、著者（著者名は全員）、発表論文名、掲載誌、巻号・ページ・発表年、URLを記載してください。*

### 2-2．研究分担者(1)（○○グループ）のデータベース等の開発・運用実績

* *これまで研究分担者が開発・運用に携わってきたデータベース等（データベース、解析手法・ツール）があれば、名称、URL、データベース等の概要、当該データベース等の開発において研究分担者が果たした役割を簡潔に記載してください。*

# 他制度での助成等の有無

## **1．**データベースへの助成等

* *2019年以降に受給した、あるいは申請中・今後申請予定の競争的研究費、運営費交付金、共同研究、利用料、寄付金（民間財団・海外機関を含む）等を全て記載してください。*
* *研究開発対象とするデータベースに関するものがあれば、本提案の研究代表者、研究分担者が受給していたものも把握している範囲で全て記載してください。*
* *（例）は削除し、必要に応じて行を追加してください。*

### (1) 2019年以降に受給していた、あるいは現在受給中

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ***例*** | ***制度名*** | *○○大学○○データベース寄付金* |
| ***課題名******（代表者名）*** | *○○データベースの開発（JST太郎）* |
| ***受給額*** | *●期間全体：30百万円(累計)、●2022年度：15百万円、●2023年度：未定* |
| ***受給期間*** | *2021.4～（終了時期未定）* |
| ***本提案との相違点*** | *開発対象データベースの維持支援を目的とした寄附金。具体的な使途は限定されていない。* |
| **1** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** |  |
| **受給額** | ●期間全体：〇〇百万円、●2022年度：〇〇百万円、●2023年度：〇〇百万円 |
| **受給期間** |  |
| **本提案との相違点** |  |
| **2** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** |  |
| **受給額** | ●期間全体：〇〇百万円、●2022年度：〇〇百万円、●2023年度：〇〇百万円 |
| **受給期間** |  |
| **本提案との相違点** |  |
| **3** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** |  |
| **受給額** | ●期間全体：〇〇百万円、●2022年度：〇〇百万円、●2023年度：〇〇百万円 |
| **受給期間** |  |
| **本提案との相違点** |  |

### (2) 申請中・申請予定

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ***例*** | ***制度名*** | *○○プログラムAタイプ* |
| ***課題名******（代表者名）*** | *○○データの整理・統合（JST太郎）* |
| ***申請額*** | ***●期間全体****：3百万円、****●2022年度****：-、****●2023年度****：1百万円* |
| ***受給期間*** | *2022.4～2025.3（3年間）* |
| ***本提案との相違点*** | *○○機能の高度化のため、○○データを○○データベースへ搭載するもの。対象とする○○データベースは同じだが、本提案では○○機能の高度化は対象外。* |
| **1** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** |  |
| **受給額** | ●期間全体：〇〇百万円、●2022年度：〇〇百万円、●2023年度：〇〇百万円 |
| **受給期間** |  |
| **本提案との相違点** |  |
| **2** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** |  |
| **受給額** | ●期間全体：〇〇百万円、●2022年度：〇〇百万円、●2023年度：〇〇百万円 |
| **受給期間** |  |
| **本提案との相違点** |  |

## 2．研究代表者への助成等

* *研究代表者が現在受けている、あるいは申請中・申請予定の競争的研究費制度やその他の研究費 （国外も含め、補助金や助成金、共同研究費、受託研究費等、現在の全ての研究費であって個別の研究内容に対して配分されるもの） について、研究課題ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人／課題全体の受給研究費の額、エフォート等を記載してください。*
* *締結済の秘密保持契約等によって記載できないなど、やむを得ない事情がある場合、エフォート以外の項目を空欄としても構いません。*
* *「1．データベースへの助成等」に記載したものであっても、研究代表者が受給したものはこちらにも記載してください。*
* *記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。*
* *面接選考の対象となった場合には、他制度への申請書、計画書等の提出を求める場合があります。*
* *エフォート（※）は、申請中・申請予定の助成等は考慮せず、本研究開発提案が採択された場合の研究開発開始時点の値を記載してください。*

*※ エフォート：研究者の全仕事時間（研究活動の時間のみを指すのではなく、教育活動中や管理業務を含めた実質的な全仕事時間）に対する当該研究の実施に必要とする時間の配分割合。*

*※ 本項目の詳細は、公募要領「4.2 不合理な重複・過度の集中に対する措置」を参照してください。*

*※ 申請中・申請予定の研究助成等について、公募締切後に内容に変更が生じた際は、本様式を修正の上、*

 *E-mail: nbdc-funding@jst.go.jp*

 *までご連絡ください。*

* *必要に応じて行を追加してください。*

|  |  |
| --- | --- |
| 統合化推進プログラムに割り当てる研究代表者のエフォート | % |

### (1) 現在受給中

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ***例*** | ***制度名*** | *○○プログラムAタイプ* |
| ***課題名******（代表者名）*** | *○○についての研究（JST太郎）* |
| ***当該者役割******（研究費に係る所属機関及び役職）*** | *代表／分担者**（△△大学・特任教授）* | ***ｴﾌｫｰﾄ*** | *50%* |
| ***研究費*** | *期間全体（本人/課題全体） 7.5百万円／10百万円**2024年度（本人/課題全体） 1.5百万円／2百万円**2023年度（本人/課題全体） 1.5百万円／2百万円**2022年度（本人/課題全体） 1.5百万円／2百万円* | ***研究******期間******（年度）*** | *2022-25年度* |
| ***本提案との******相違点*** | *○○の○○について、○○を用いて明らかにするための研究であり、本提案とは無関係である。* |
| **1** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** |  |
| **当該者役割****（研究費に係る所属機関及び役職）** | 代表／分担者（　） | **ｴﾌｫｰﾄ** | % |
| **研究費** | 期間全体（本人／課題全体）　〇〇百万円／〇〇百万円2024年度（本人／課題全体）　〇〇百万円／〇〇百万円2023年度（本人／課題全体）　〇〇百万円／〇〇百万円2022年度（本人／課題全体）　〇〇百万円／〇〇百万円 | **研究****期間****（年度）** |  |
| **本提案との****相違点** |  |
| **2** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** |  |
| **当該者役割****（研究費に係る所属機関及び役職）** | 代表／分担者（　） | **ｴﾌｫｰﾄ** | % |
| **研究費** | 期間全体（本人／課題全体）　〇〇百万円／〇〇百万円2024年度（本人／課題全体）　〇〇百万円／〇〇百万円2023年度（本人／課題全体）　〇〇百万円／〇〇百万円2022年度（本人／課題全体）　〇〇百万円／〇〇百万円 | **研究****期間****（年度）** |  |
| **本提案との****相違点** |  |

### (2) 申請中・申請予定

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **1** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** |  |
| **当該者役割****（研究費に係る所属機関及び役職）** | 代表／分担者（　） |
| **研究費** | 期間全体（本人／課題全体）　〇〇百万円／〇〇百万円2024年度（本人／課題全体）　〇〇百万円／〇〇百万円2023年度（本人／課題全体）　〇〇百万円／〇〇百万円2022年度（本人／課題全体）　〇〇百万円／〇〇百万円 | **研究****期間****（年度）** |  |
| **本提案との****相違点** |  |
| **2** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** |  |
| **当該者役割****（研究費に係る所属機関及び役職）** | 代表／分担者（　） |
| **研究費** | 期間全体（本人／課題全体）　〇〇百万円／〇〇百万円2024年度（本人／課題全体）　〇〇百万円／〇〇百万円2023年度（本人／課題全体）　〇〇百万円／〇〇百万円2022年度（本人／課題全体）　〇〇百万円／〇〇百万円 | **研究****期間****（年度）** |  |
| **本提案との****相違点** |  |
| **3** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** |  |
| **当該者役割****（研究費に係る所属機関及び役職）** | 代表／分担者（　） |
| **研究費** | 期間全体（本人／課題全体）　〇〇百万円／〇〇百万円2024年度（本人／課題全体）　〇〇百万円／〇〇百万円2023年度（本人／課題全体）　〇〇百万円／〇〇百万円2022年度（本人／課題全体）　〇〇百万円／〇〇百万円 | **研究****期間****（年度）** |  |
| **本提案との****相違点** |  |

## 3. 研究分担者への助成等

### 3-1.研究分担者（１）（○○グループ）

* *研究分担者が現在受けている、あるいは申請中・申請予定の競争的研究費制度やその他の研究費 (国外も含め、補助金や助成金、共同研究費、受託研究費等、現在の全ての研究費であって個別の研究内容に対して配分されるもの） について、研究課題ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人/課題全体の受給研究費の額、エフォート等を記載してください。*
* *締結済の秘密保持契約等によって記載できないなど、やむを得ない事情がある場合、エフォート以外の項目を空欄としても構いません。*
* *「1．データベースへの助成等」に記載したものであっても、研究分担者が受給したものはこちらにも記載してください。*
* *記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。*
* *面接選考の対象となった場合には、他制度への申請書、計画書等の提出を求める場合があります。*
* *エフォート（※）は、申請中・申請予定の助成等は考慮せず、本研究開発提案が採択された場合の研究開発開始時点の値を記載してください。*

*※ エフォート：研究者の全仕事時間（研究活動の時間のみを指すのではなく、教育活動中や管理業務を含めた実質的な全仕事時間）に対する当該研究の実施に必要とする時間の配分割合。*

*※ 本項目の詳細は、公募要領「4.2 不合理な重複・過度の集中に対する措置」を参照。*

*※ 申請中・申請予定の研究助成等について、公募締切後に内容に変更が生じた際は、本様式を修正の上、*

 *E-mail: nbdc-funding@jst.go.jp*

 *までご連絡ください。*

* *必要に応じて行を追加・削除してください。*
* *研究分担者グループが複数ある場合は、「3-2.研究分担者（2）（○○グループ）」、「3-3.研究分担者（3）（○○グループ）」・・・というように、項目を増やして記載してください。*
* *研究分担者グループ（１）がない場合は「3-1.研究分担者（１）」の項目ごと削除してください。*

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **氏名・所属機関名** | **制度名** | **エフォート** |
|  | 統合化推進プログラム | % |

### (1) 現在受給中

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ***例*** | ***制度名*** | *○○プログラムAタイプ* |
| ***課題名******（代表者名）*** | *○○についての研究（JST太郎）* |
| ***当該者役割******（研究費に係る所属機関及び役職）*** | *代表／分担者**（△△大学・特任教授）* | ***ｴﾌｫｰﾄ*** | *50%* |
| ***研究費*** | *期間全体（本人/課題全体） 7.5百万円／10百万円**2024年度（本人/課題全体） 1.5百万円／2百万円**202３年度（本人/課題全体） 1.5百万円／2百万円**2022年度（本人/課題全体） 1.5百万円／2百万円* | ***研究******期間******(年度)*** | *2022-25年度* |
| ***本提案との******相違点*** | *○○の○○について、○○を用いて明らかにするための研究であり、本提案とは無関係である。* |
| **1** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** |  |
| **当該者役割****（研究費に係る所属機関及び役職）** | 代表／分担者（　） | **ｴﾌｫｰﾄ** | % |
| **研究費** | 期間全体（本人/課題全体） 〇〇百万円／〇〇百万円2024年度（本人/課題全体） 〇〇百万円／〇〇百万円2023年度（本人/課題全体） 〇〇百万円／〇〇百万円2022年度（本人/課題全体） 〇〇百万円／〇〇百万円 | **研究****期間****(年度)** |  |
| **本提案との****相違点** |  |
| **2** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** |  |
| **当該者役割****（研究費に係る所属機関及び役職）** | 代表／分担者（　） | **ｴﾌｫｰﾄ** | % |
| **研究費** | 期間全体（本人/課題全体） 〇〇百万円／〇〇百万円2024年度（本人/課題全体） 〇〇百万円／〇〇百万円2023年度（本人/課題全体） 〇〇百万円／〇〇百万円2022年度（本人/課題全体） 〇〇百万円／〇〇百万円 | **研究****期間****(年度)** |  |
| **本提案との****相違点** |  |

### (2) 申請中・申請予定

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **1** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** |  |
| **当該者役割****（研究費に係る所属機関及び役職）** | 代表／分担者（　） |
| **研究費** | 期間全体（本人/課題全体） 〇〇百万円／〇〇百万円2024年度（本人/課題全体） 〇〇百万円／〇〇百万円2023年度（本人/課題全体） 〇〇百万円／〇〇百万円2022年度（本人/課題全体） 〇〇百万円／〇〇百万円 | **研究****期間****(年度)** |  |
| **本提案との****相違点** |  |
| **2** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** |  |
| **当該者役割****（研究費に係る所属機関及び役職）** | 代表／分担者（　） |
| **研究費** | 期間全体（本人/課題全体） 〇〇百万円／〇〇百万円2024年度（本人/課題全体） 〇〇百万円／〇〇百万円2023年度（本人/課題全体） 〇〇百万円／〇〇百万円2022年度（本人/課題全体） 〇〇百万円／〇〇百万円 | **研究****期間****(年度)** |  |
| **本提案との****相違点** |  |
| **3** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** |  |
| **当該者役割****（研究費に係る所属機関及び役職）** | 代表／分担者（　） |
| **研究費** | 期間全体（本人/課題全体） 〇〇百万円／〇〇百万円2024年度（本人/課題全体） 〇〇百万円／〇〇百万円2023年度（本人/課題全体） 〇〇百万円／〇〇百万円2022年度（本人/課題全体） 〇〇百万円／〇〇百万円 | **研究****期間****(年度)** |  |
| **本提案との****相違点** |  |

# 特記事項

## 1．研究代表者と評価者（研究総括・研究アドバイザー）との利害関係の有無

*（ア） 研究総括との利害関係*

* *研究代表者と研究総括に利害関係がある場合は、公募要領「2.8.2 利益相反マネジメントの実施 （1）選考に関わる者の利益相反マネジメント」の該当要件、**その理由を簡潔に記載してください。記載に基づき利害関係があるとJST が判断した場合は、研究総括は選考に加わりません。*
* *なお、****公募要領「2.6.1 応募者の要件」の項目eに記載の要件に******該当する場合は、本公募への応募自体ができません****。*

*（イ） 研究アドバイザーとの利害関係*

* *研究代表者と研究アドバイザーに利害関係がある場合は、研究アドバイザー名、公募要領「2.8.2 利益相反マネジメントの実施 （1）選考に関わる者の利益相反マネジメント」の該当要件、その理由を簡潔に記載してください。記載に基づき利害関係があるとJSTが判断した研究アドバイザーは、選考に加わりません。なお研究アドバイザー一覧は、NBDCウェブサイトをご参照ください。*

*https://biosciencedbc.jp/funding/program/dicp/*

（ア） 研究総括との利害関係：　[ ] 有　　[ ] 無

理由（利害関係がある場合）：

*（例）研究総括と学術的な競争関係にあり、公募要領2.8.2(1)に定める利害関係者の要件のうち、eに該当する。*

（イ） 研究アドバイザーとの利害関係：　[ ] 有　　[ ] 無

利害関係にある研究アドバイザー名：△△　△△

理由（利害関係がある場合）：

*（例）**○○研究アドバイザーと同一の学科に所属しており、公募要領2.8.2(1)に定める利害関係者の要件のうち、bに該当する。*

## 2. 研究代表者の利益相反マネジメントに関する申告

* *「研究代表者に関係する機関」に所属する研究者を研究分担者とする場合は、「研究代表者に関係する機関」の機関名、ならびに研究代表者と「研究代表者に関係する機関」との間の利益相反について、**公募要領「2.8.2（2）研究代表者の利益相反マネジメント」のa～dのいずれに該当するかを記載した上で、理由を具体的に記載してください。*
* *「研究代表者に関係する機関」とは、以下のいずれかに該当する場合をいいます。なお、a 及びbについては研究代表者のみではなく、研究代表者の配偶者及び一親等内の親族（以下、「研究代表者等」と総称します。）についても同様に取り扱います。*
	1. *研究代表者等の研究開発成果を基に設立した機関（直接的には経営に関与せず技術顧問等の肩書きを有するのみの場合、株式を保有しているのみの場合を含む）。*
	2. *研究代表者等が役員（CTOを含み、技術顧問を含まない）に就任している機関。*
	3. *研究代表者が株式を保有している機関。*
	4. *研究代表者が実施料収入を得ている機関。*
* *「研究代表者に関係する機関」に所属する研究者を研究分担者としない場合も、下の「無」にチェックを入れてください。*

研究代表者に関係する機関：　[ ] 有　　[ ] 無

*（例）当該機関の名称（研究分担者名）：株式会社○○（科学太郎）*

*該当項目： 2.8.2（2）に定める要件のうちb.に該当する。*

理由：

## 3. JSTの利益相反マネジメントに関する申告

* *公募要領「2.8.2（3） JSTの利益相反マネジメント」記載のJSTの出資先企業が研究を実施する機関として含まれるか否かを記載してください。*
* *JSTの出資先企業が研究実施予定機関として含まれない場合は、下の「無」にチェックを入れてください。*

*※ JSTの出資先企業については以下ウェブページを参照してください。なお、出資を終了した企業は利益相反マネジメントの対象ではないため、申告の必要はありません。*

 *出資型新事業創出支援プログラム（SUCCESS） 出資実績*

 *https://www.jst.go.jp/entre/result.html#M01*

*※ 申告の基準日は本プログラムの公募開始日とします。当該日時点でJSTからの出資が公表されている企業について申告してください。出資内定済み等であるものの未公表の企業については、JST内部の機密保持のため、申告の必要はありません。*

 *JSTの出資公表については以下ウェブページを参照してください。*

 *出資型新事業創出支援プログラム（SUCCESS） 新着情報一覧*

 *https://www.jst.go.jp/entre/news.html*

JSTの出資先企業の参画：　☐有　　☐無

*（例）当該機関の名称（研究代表者名）：株式会社○○（科学太郎）*

## 4. 人権の保護および法令等の遵守への対応

　本研究開発計画については、遵守すべき法令・ガイドライン等を理解の上策定したことを確認します。

また計画の実施にあたっても、法令・ガイドライン等を遵守して実施することを確認します。

|  |
| --- |
| （遵守すべき法令・ガイドライン等の例）* 「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」（平成26年8月26日文部科学大臣決定。その後の改正を含む）
* 「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）平成19年2月15日施行/令和3年2月1日改正文部科学大臣決定。その後の改正を含む。）」
* 安全保障貿易管理（海外への技術漏洩への対処）について、最先端研究の成果等が大量破壊兵器の開発者やテロリスト集団等、軍事転用等の懸念活動を行うおそれのある者に渡らないよう、外国為替及び外国貿易法（外為法）をはじめ、各府省が定める法令・省令・通達等
* 海外における実地の研究活動（生物資源の持ち出しも含む）や海外研究機関との共同研究を行う際には、関連する国の法律等
* ライフサイエンスに関する研究については、生命倫理および安全の確保に関し、各府省が定める法令・省令・倫理指針等
 |

　　　*（確認した場合は、*□*にチェックを入れること）*

　　　[ ] 以上につき、確認しました。

## **5.** **若手研究者の多様なキャリアパスの支援について**

* *若手研究者に対する多様なキャリアパスを支援する活動計画として、機関が行う企業等と協働して行う講義、長期インターンシップ、企業交流会、カウンセリング等への参加の推奨、異分野を含めた研究活動への主体的な参加の推奨等について、簡潔に記載してください。*

## 6．その他

* *本プログラムに応募した理由、研究に際しての希望、異動予定がある等、ご事情、その他について記載してください。*